

## 岩手県紫波町、株式会社紫波フルーツパーク、株式会社オーレックの3者で 持続可能な農業の実現に向けた包括連携協定を締結しました

株式会社オーレック（所在地：福岡県八女郡広川町、代表取締役社長：今村健二）は岩手県紫波町および株式会社紫波フルーツパーク（所在地：岩手県紫波郡紫波町）と持続可能な農業の実現に向け、三者間での「包括連携協定」を締結しましたので、お知らせいたします。

### 1. 目的

岩手県紫波町、株式会社紫波フルーツパーク、株式会社オーレックの3者にて各々の特色や強みを生かし、農業教育高度化に向けた取組を実施することで紫波町の基幹産業である農業を持続可能な産業へと発展させることを目的とする包括連携協定です。株式会社紫波フルーツパークの葡萄生産～加工、ワインの製造までを行う事業環境と株式会社オーレックが製造・販売する草刈機および草生栽培の考え方を岩手県紫波町の農業教育へ提供。協働で農業教育高度化に向けた取組を実施することで未来の農業を牽引する人材を育て、持続可能な農業の実現を目指します。

### 2. 内容

- (1) 農業教育高度化に向けた取組を通じた、未来の農業を牽引する人材の育成に関すること
- (2) 町の農畜産物の普及拡大に関すること

### 3. 協定締結日

2023年4月18日

### 4. 協定締結者

岩手県紫波郡紫波町長

株式会社紫波フルーツパーク 取締役会長

株式会社オーレック 代表取締役社長

熊谷 泉 様

藤原 孝 様

今村 健二 様



【締結式の様子】左から藤原会長（株式会社紫波フルーツパーク）、今村社長（株式会社オーレック）、熊谷町長（紫波町）

■紫波町町長 熊谷様 コメント

株式会社オーレック様の提唱する「草生栽培」は、みどりの食料戦略の一環である有機農法の手法の一つであり、脱炭素社会の実現のために国際的に推進されている4パーミル・イニシアチブも実現していく取り組みです。このことは、町で現在目標としている内容と合致しており、本協定締結を契機に、この取り組みをさらに推進し、成果につなげることができるよう期待しております。

■株式会社紫波フルーツパーク 取締役会長 藤原様 コメント

農業の担い手確保は現代の農業において、喫緊の課題となっております。草生栽培に必要な労働力の軽減と、草刈り作業に対する魅力を株式会社オーレック様との協定締結を契機に、より魅力的なぶどうを栽培し、よりおいしいワインが醸造できることを、地域住民や子供たちに伝えるとともに、未来を担う農業者の育成に繋げていくことができるよう鋭意努力してまいります。

■株式会社オーレック 代表取締役社長 今村 コメント

弊社は農家の大きな困りごとである、草刈りの部分を解決する草刈機の開発に注力し、新しい価値を持った農業機械の開発を行っています。農家の皆様を支援し、農業分野の次世代発展につながる働きを行う企業でありたい、という思いから本協定の締結に至りました。紫波町の発展、未来のため、農業機械、草生栽培の分野で連携し、貢献できるよう努めてまいります。

【会社概要】

- ・社名 : 株式会社オーレック
- ・創業 : 1948年（昭和23年）10月
- ・代表取締役社長 : 今村健二
- ・主要事業 : 緑地管理機/農業機械製造販売など
- ・WEB : <https://www.orec-jp.com/>

▼掲載・取材に関するお問合せ▼

株式会社オーレックホールディングス 経営本部 ブランディング広報グループ  
担当：南立(なんだて)、松原(まつばら)  
[TEL:0943-32-5072](tel:0943-32-5072) / [MAIL:kouhou@orec.co.jp](mailto:kouhou@orec.co.jp)